

隊友「船橋だより」の発刊に寄せて

平成23年6月

最初に、東日本大震災で無くなられた方のご冥福を祈るとともに被災された皆様にお見舞い申し上げます。

千葉県隊友会本部が実施した募金活動に多くの会員の皆様から基金が寄せられたと聞いています有難う御座いました。細部は、県本部から皆様に報告があると思います。

私は、船橋支部長をやらせていただいています井本です。よろしくお願いします。

船橋支部の神谷事務局長から、支部会員の繋がりをもっと強化するために支部だよりを作成したいと提案があり、直ぐに賛同いたしました。

紙面は限られていますが、今後、会員の皆様から多くの投稿を頂き、交流の場を広げたいと存じ第一号と言うことで船橋支部組織の現況を主体に、照会・説明して参ります。

各分会長をはじめ役員の皆様にお世話になっており感謝申し上げます。

予算も少なくボランティア的な活動ではありますが、会員の絆を深めるために、今後ともよろしく願いたします。

隊友会船橋支部の現況について

隊友会の会勢も、正会員が8万余名・現職自衛官等の賛助会員が21万余名・特別会員が2800余名(約170余法人含む)で、船橋支部も6月4日現在の在籍者数は315名と成っております。

しかし、その内訳はままならず機関紙である「隊友」すら正面に配ることの出来ない状態である。何故に、第一の原因は25万有余の現職たる賛助会員からの会費徴収(古兵の諸氏ならお判りになる方も居られると思いますが、会費を納めた会員を掌握してですか、早なる親方日の丸主義の現職からの個々への領収書も入らない賛助会員会費として一括的に懐に入れていものと推察される)に何えるところあり。現に会費等が納入されたら、集合住宅の室名・戸番が無ければ下も配達不能の時代。故に、住所確認を兼ねて何年度分受領の領収書を発し、金銭管理と会員の把握に徹することを要望するも、納入するのが当たり前とし請求行為も及び腰、ましてや振込み受領書で足りるとして努力せず。支部は、会費納入にはタッチして居らず。機関誌の配布に関しては県の言う儘に手渡し配布を行って居ます。

新聞不要の方にも、会費等は免除で払わなくてよい人・納めている人・納めていない人が居ますがすでに発行されている「千葉だより」今回から発行する「船橋だより」が属しません。従って、免除の方も、納めている方も「不要」を撤回し、納めて居ない方も会費等を納めて機関紙「隊友」を受領すようにして下さい。会費等の納入不明点は、県に仲立ち(会費等は年度先行方式にもなっています)致しますので申し出下さい。

裏面に「分会等現況表」を揭示してあります。

お 報

鹿兒島 一 義 78才(昭7.6.25生) 新高根3~16~21

平成23年4月29日 胃癌再発による死亡(22年1月胃癌手術)

高根分会所属 元空挺隊員(昭30空挺二次研究員として米軍から教育)

※ 叙戦を得るには「栄典覚書」を以て死亡から5日以内に申請となつて居ますことを念頭に。同期・戦友・友人・知人・会員のどなたでも承知された方は、通報のお言付けをお願いします。